

# 練習プラン2

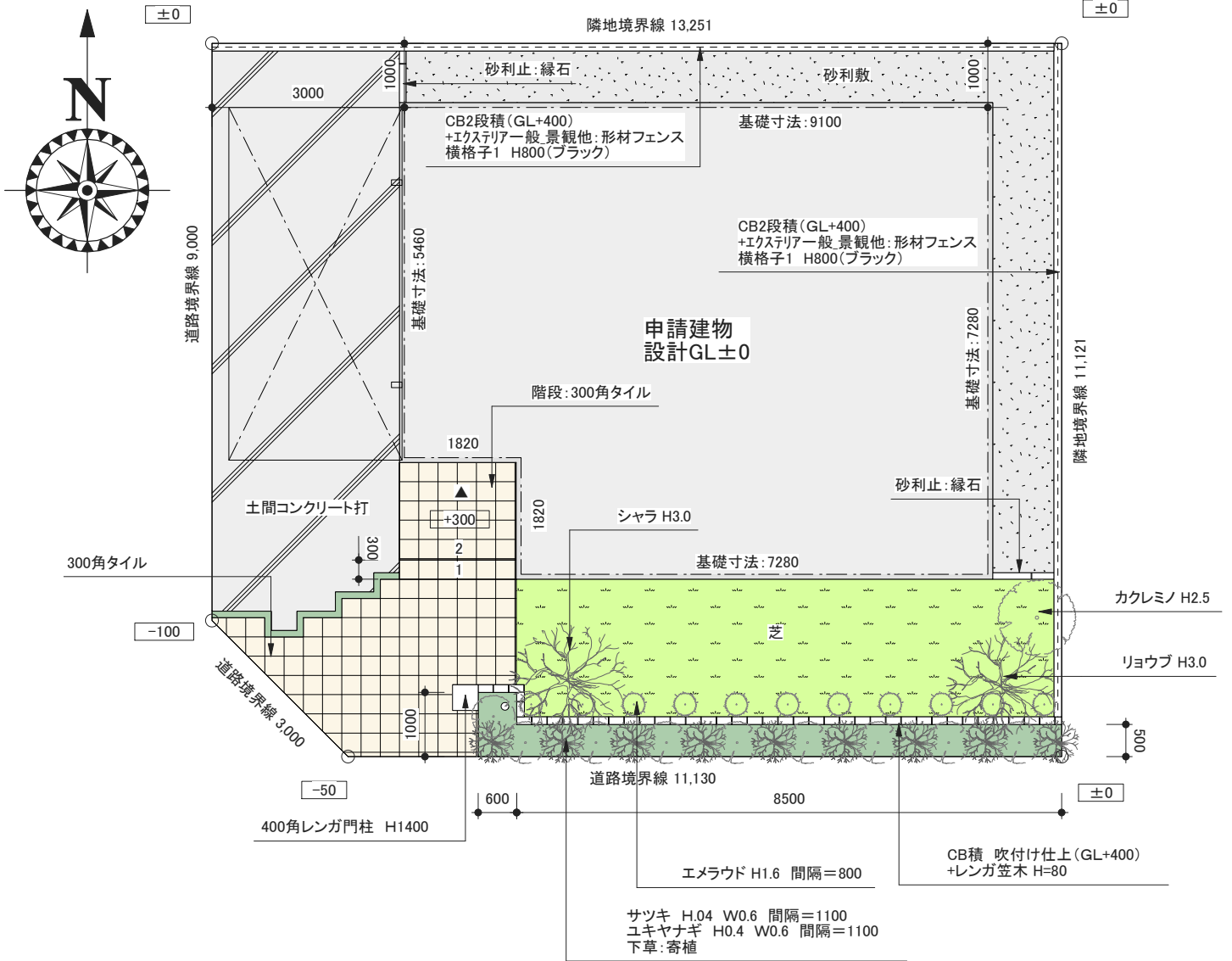
練習プラン1の図面修正をしてみましょう

縮尺：1/100の図面です。

立面図・パースはArt仕上げとなっております。



わからない時は「webマニュアル テキスト eE-CAD9 各仕様の練習プラン2」をご参照下さい。



## 練習プラン2

練習プラン1の図面修正をしてみましょう

立面図・パースはArt仕上げとなっております。



# データの複製

修正前のデータを開き、修正用データとして保存します。

eE-CADを起動

デスクトップ上の『eE-CAD』を  
ダブルクリックします。

データを開く

修正前の外構プラン作図用データを  
開きます。

ファイルメニュー 開く

別名保存

開いたデータを『修正作図用』データ  
として名称を変更し保存します。

ファイルメニュー 別名保存

# ユニット削除

訂正箇所のユニットを削除します。

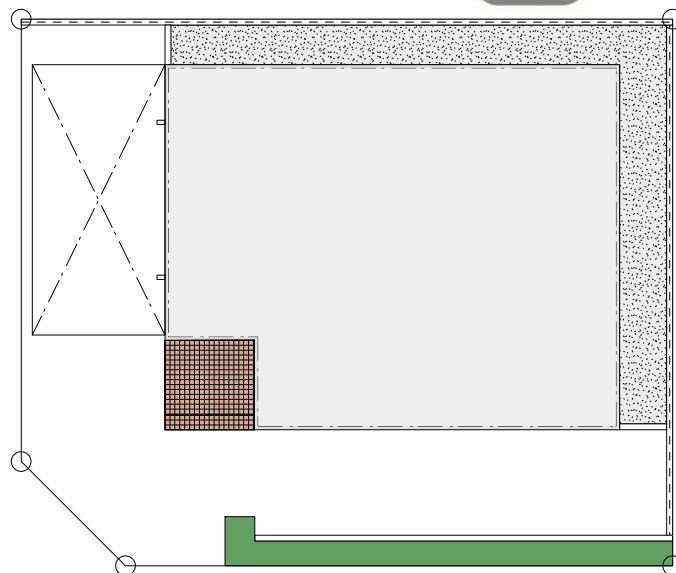
ユニット選択&削除

必要なくなったものや変更になった床  
ユニットを選択します。

Back  
Space

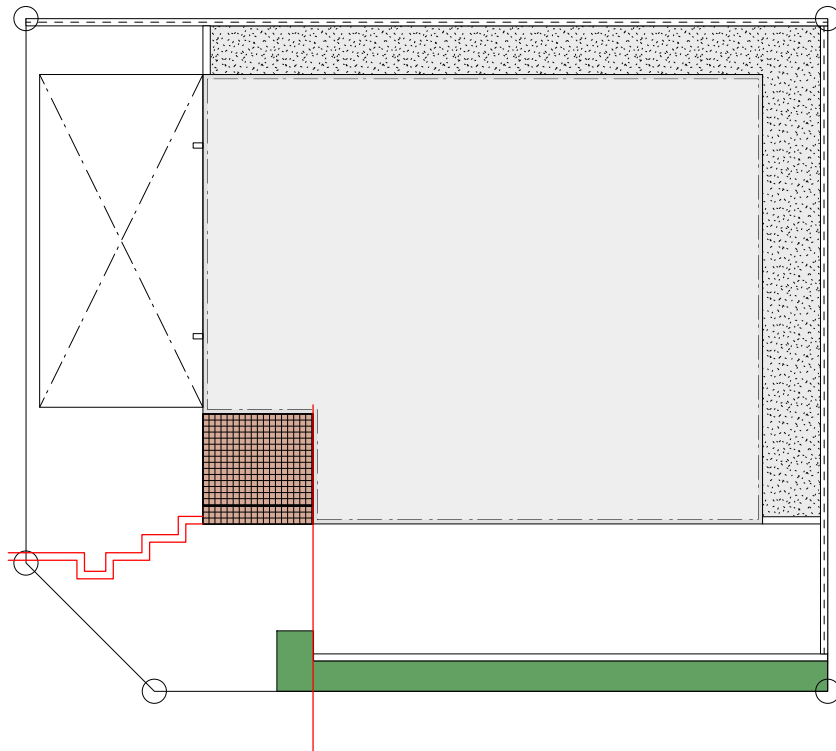
or

Delete



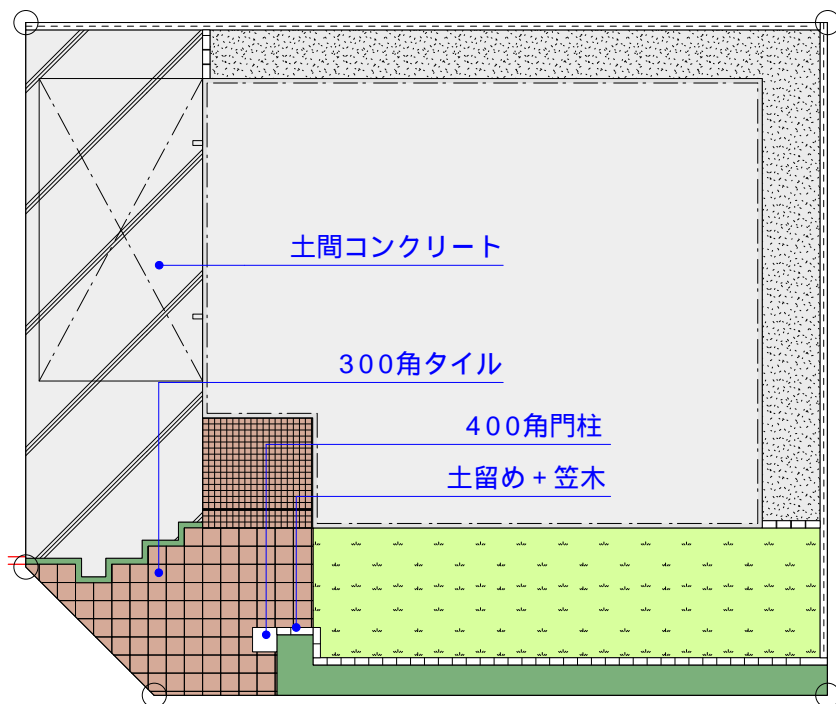
# 補助線入力

修正プランに合わせて補助線を入力します。



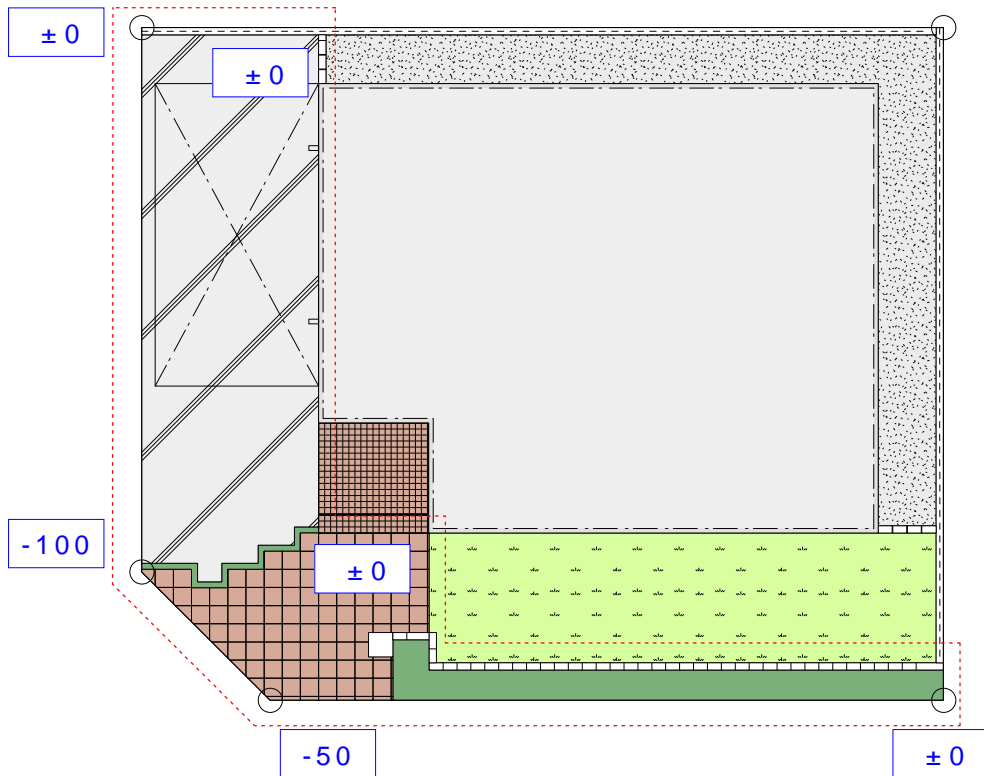
# ユニット入力

修正プランに合わせてユニットを入力します。



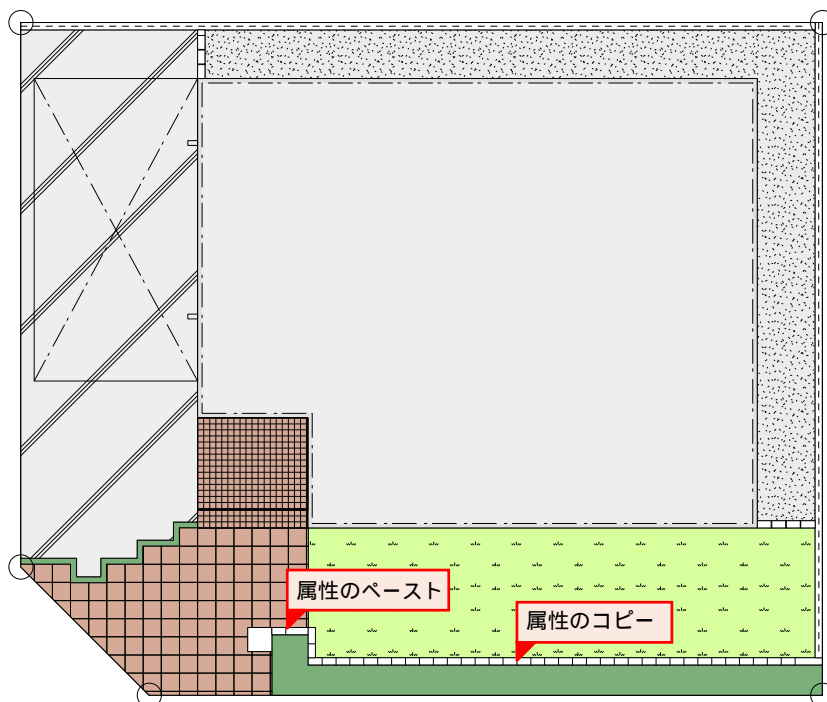
# レベル一括変換

入力したユニットの下端レベルを決定します。



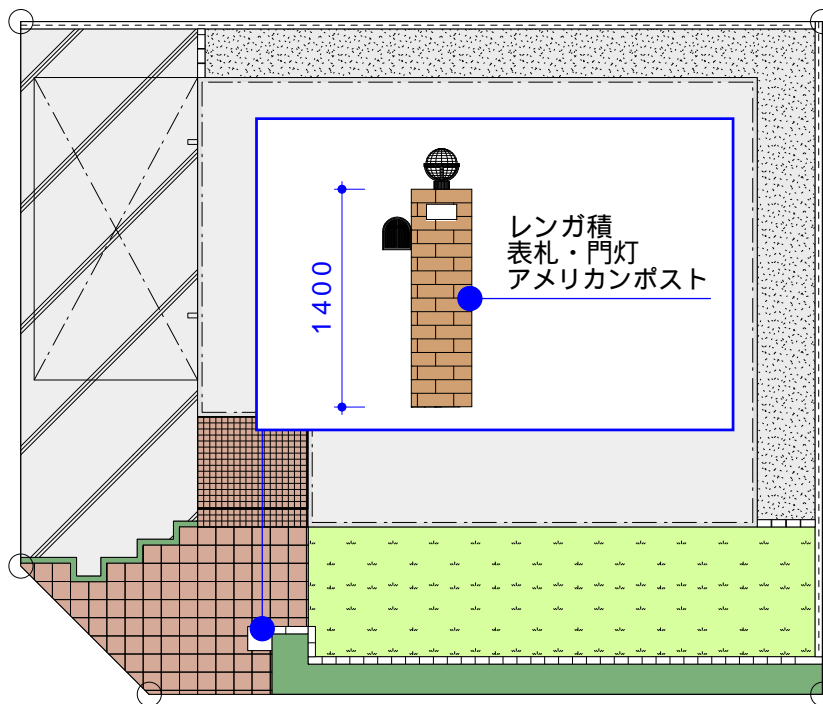
# 塀設定のコピー＆ペースト

土留めの塀の設定を新規入力した土留めにコピー＆ペーストします。



# 門柱の設定

門柱の高さと仕様、製品の取り付けを行います。



**製品埋め込み設定：** 門灯などは埋め込み設定で配置位置を決めます。

## 製品入力

通常通り塀デザイナーで製品を入力  
します。

## シンボル詳細設定

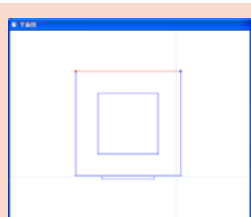
シンボル詳細の『詳細設定』に移り  
ます。

## 埋め込み設定

埋め込み設定欄から製品の平面配置  
位置をボタンで選択します。

**!** 確認

塀設定画面左下の平  
面画面で配置位置が  
確認できます。



基本設定

詳細設定

埋込設定

貼付手前

貼付奥

埋込手前

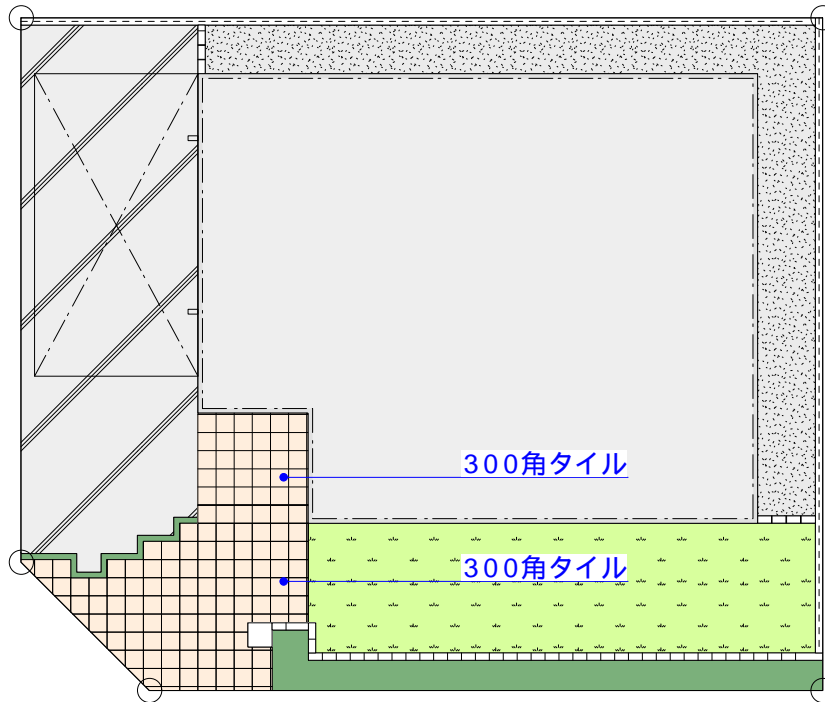
埋込中

埋込奥



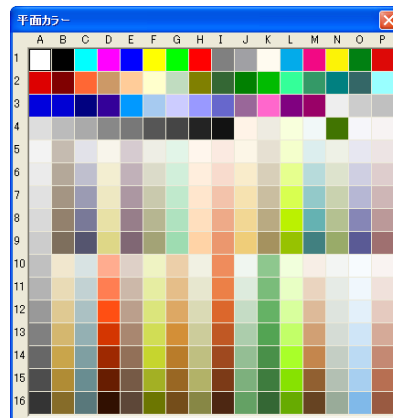
# タイル変更

玄関ポーチとアプローチのタイル目地を入力しなおしタイルの色を変更しましょう。

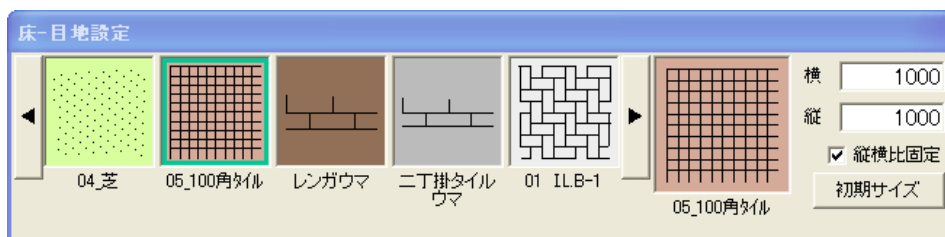


**色変更：** カラーパレットを表示させ、色をドラックして入力します。

表示メニュー 平面カラーパレット



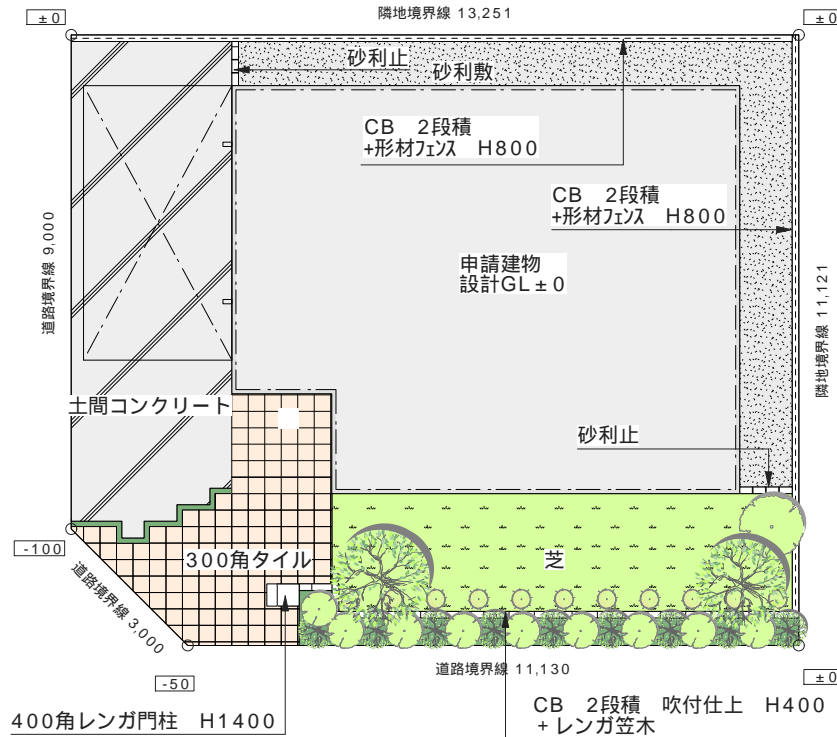
**目地入れ替え：** 床、階段の設定画面でサイズに合わせて目地を入力します。



# 注釈訂正

変更内容に合わせて注釈を訂正します。 ~eE-Painter仕上げ~

アークレンダー仕上は 練習プラン2-12~を参照



# eE-Painter起動

作業画面を仕上げ作業画面に切り替えます。

静止画像削除

修正前の静止画像を削除します。

データを開く

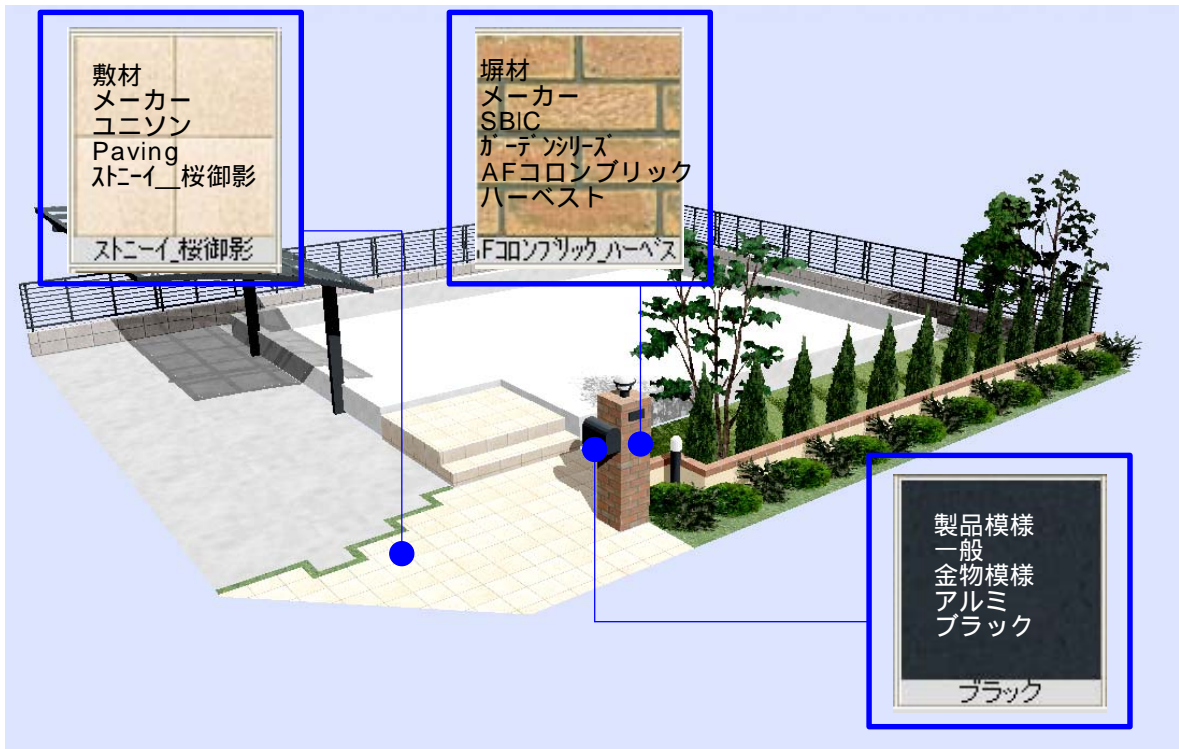
ユニットレイヤ、またはカメラレイヤでeE-Painterを起動し仕上画面に移ります。





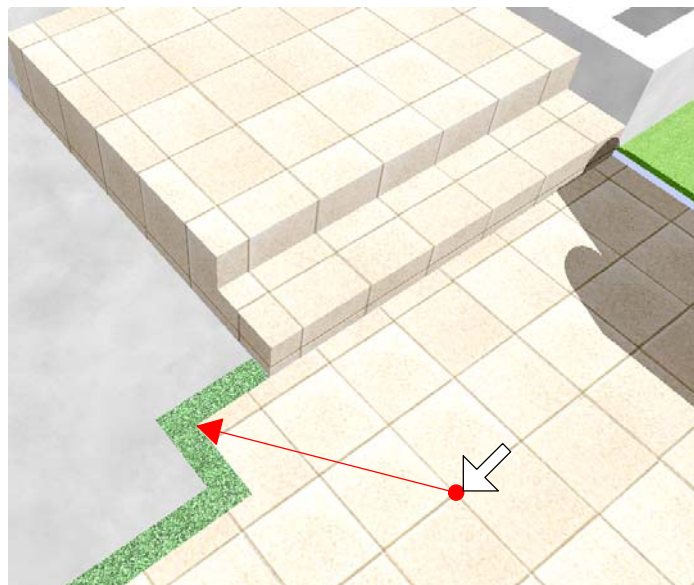
# テクスチャ設定

下図を参考にテクスチャを貼り付けてみましょう。



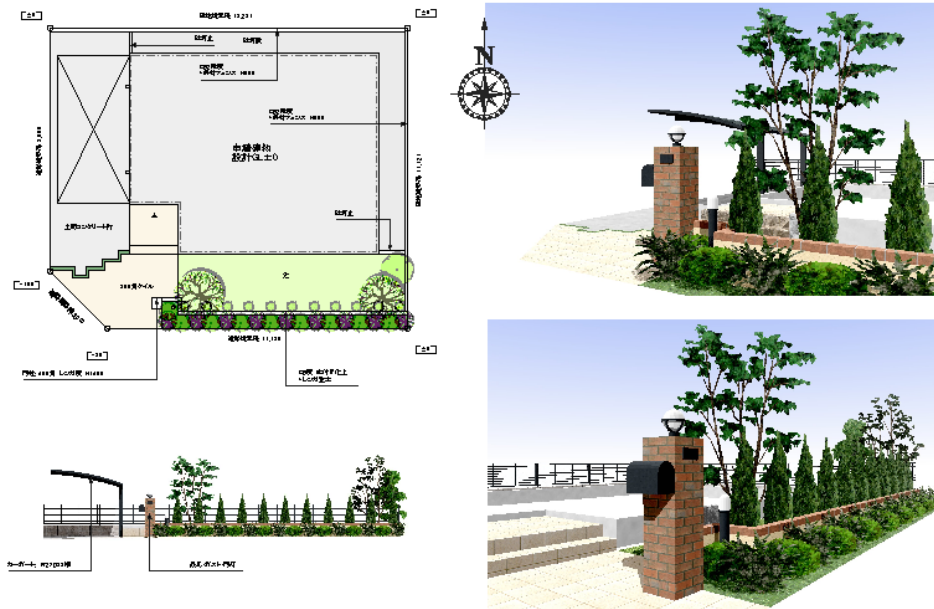
**目地位置変更：** 目地の貼り始め位置を調整します。

セレクションポインタツールで目地の角をつまんで図形の角に合わせます。



# レイアウト

パースと立面図の静止画像を図面上に配置しレイアウトします。

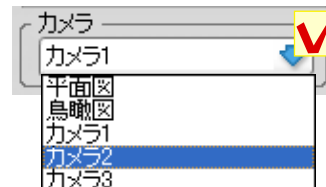


STEP2 エクステリアプラン

**レンダリング：** 自動レタッチ設定後、静止画像を図面上にレイアウトします。

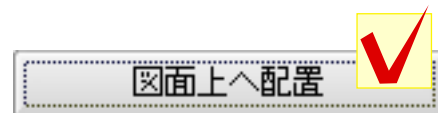
## カメラ選択

静止画像を作成するカメラを選択します。



## レタッチマクロ設定

好みに合わせて『塗り』と『ライン』の組み合わせを選択し、自動レタッチ設定を行います。



## ！ 再レンダリング

eE-Painterを起動しなおし、別のカメラの静止画像を図面上に配置します。



# 立面注釈訂正

---

変更内容に合わせて立面注釈を訂正します。

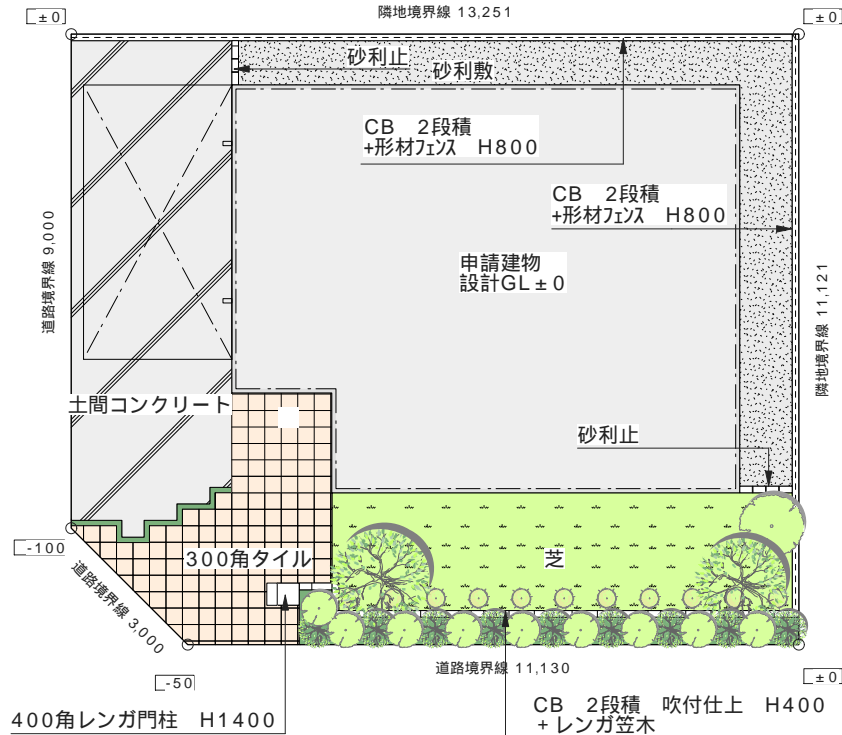


カーポート：片流R W27D50

門灯・表札・アメリカンポスト

# 注釈訂正

変更内容に合わせて注釈を訂正します。 ~アーケレンダー仕上げ~



## 描き出し

作成したデータをVectorWorksに描き出し、印刷用データとして保存してみましょう。

描き出し

作成したeE-CADデータを  
VectorWorksに描き出します。

描き出し

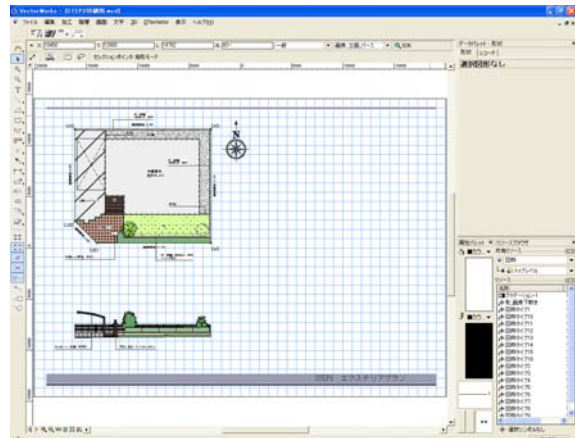
⚠ 描き出しボタンがない場合は  
『VectorWorks』から再度起動  
してください。

保存

描き出したデータを『印刷用』デー  
タとして保存します。

ファイルメニュー

保存



# 取り出し～アーレンダー起動

修正物件の印刷用データと仕上用データを作成し、仕上用データを開きます。

## 作業画面切り替え

画面右上の画面登録ポップアップから『アーレンダー仕上』画面に切り替えます。

3Dペインター/線画立面  
CGペインター仕上  
アーレンダー仕上  
レイアウト  
仕上印刷



## 取り出し

アーレンダーに取り出します。

ファイルメニュー

取り出す  
アーレンダー

ファイル名 : 修正仕上用

## CAD終了

VectorWorksを終了します。

ファイルメニュー

終了

## アーレンダー起動

アーレンダーを起動します。



## データを開く

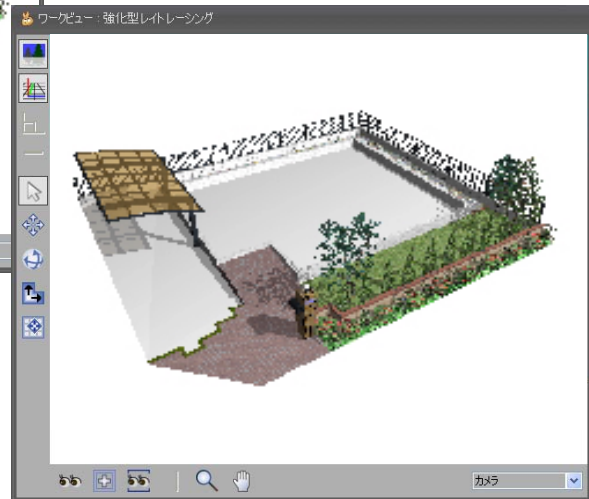
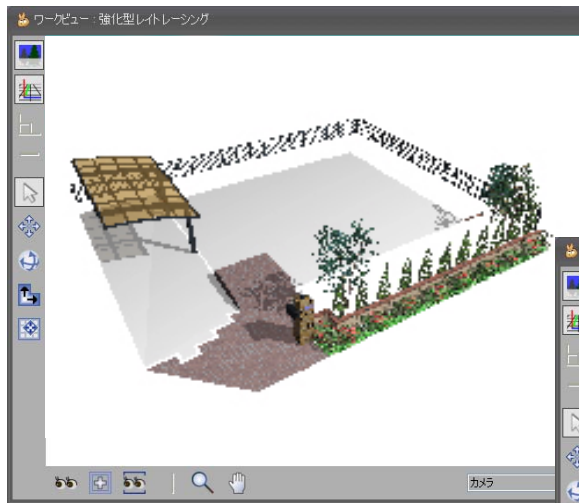
修正仕上げ用データを開きます。

ファイルメニュー

開く

# オブジェクト削除～重ねて開く

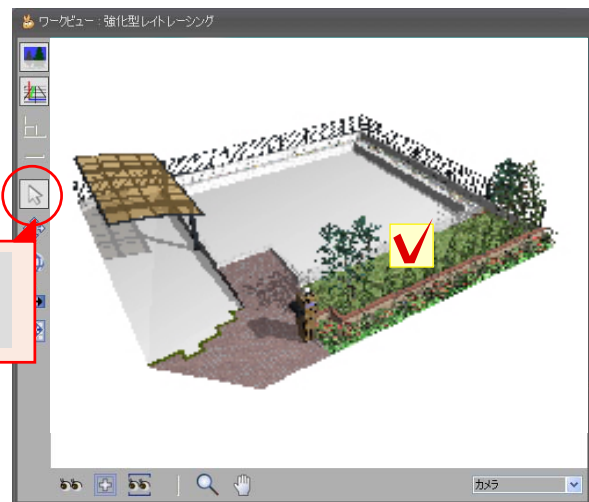
修正後の仕上げ用データで訂正箇所以外のオブジェクトを削除し、修正前の仕上げデータを重ねます。



## オブジェクト削除

ワークビュー内で訂正や追加したオブジェクトのみが残るようにその他のオブジェクトを削除します。

Back Space or Delete



## 重ねて開く

修正仕上用データに仕上用データを重ねます。

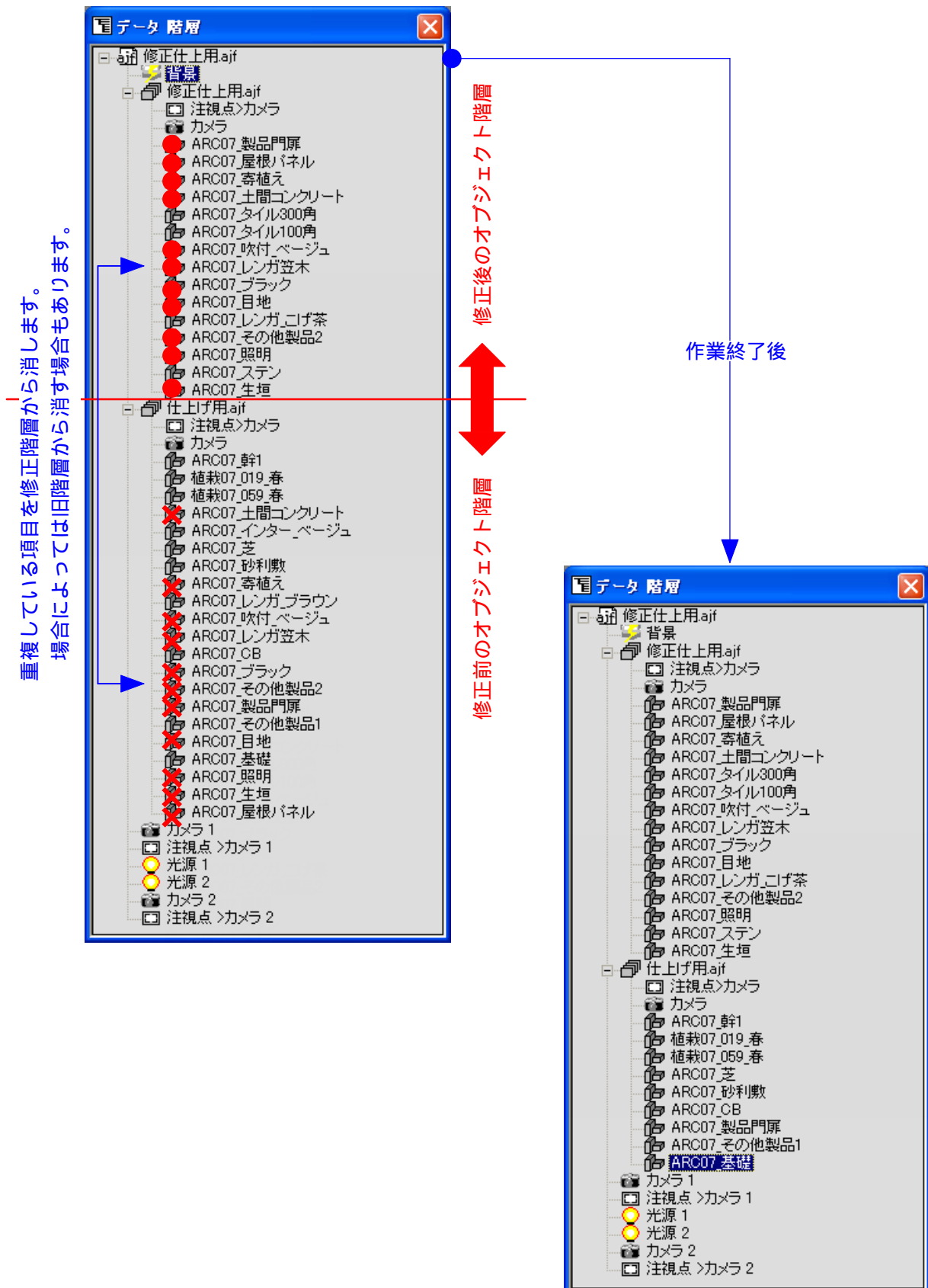
ファイルメニュー

重ねて開く



## オブジェクト整理

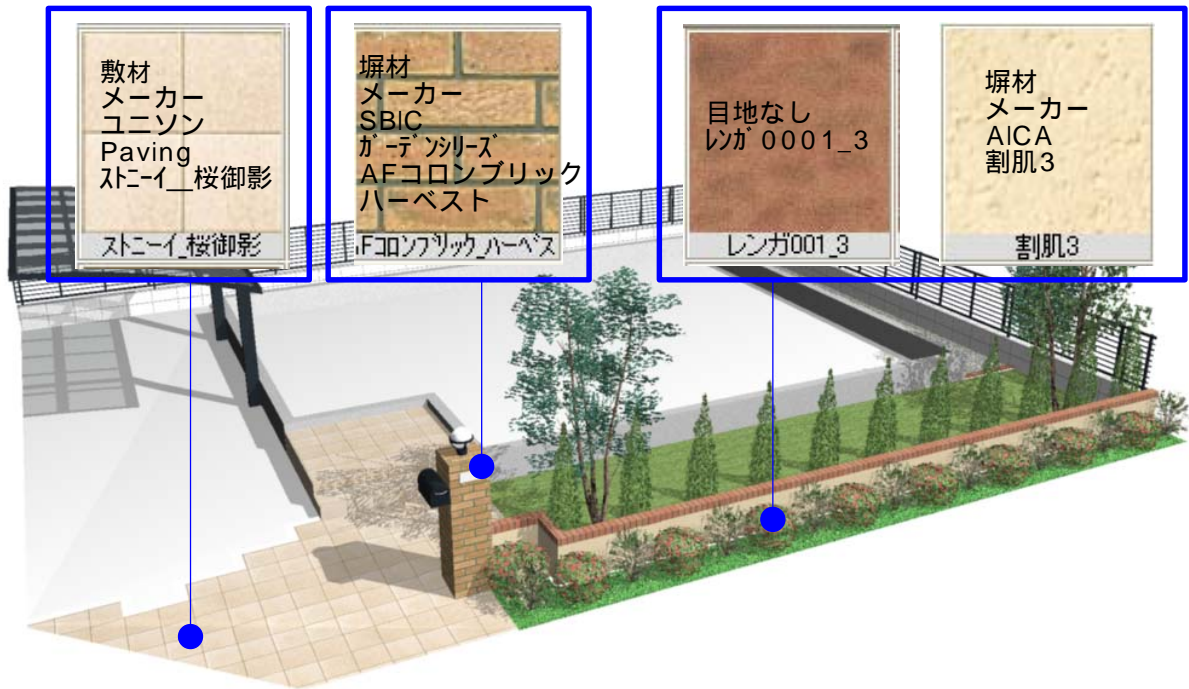
2重に取り込まれたオブジェクトを仕上の階層から削除していきます。





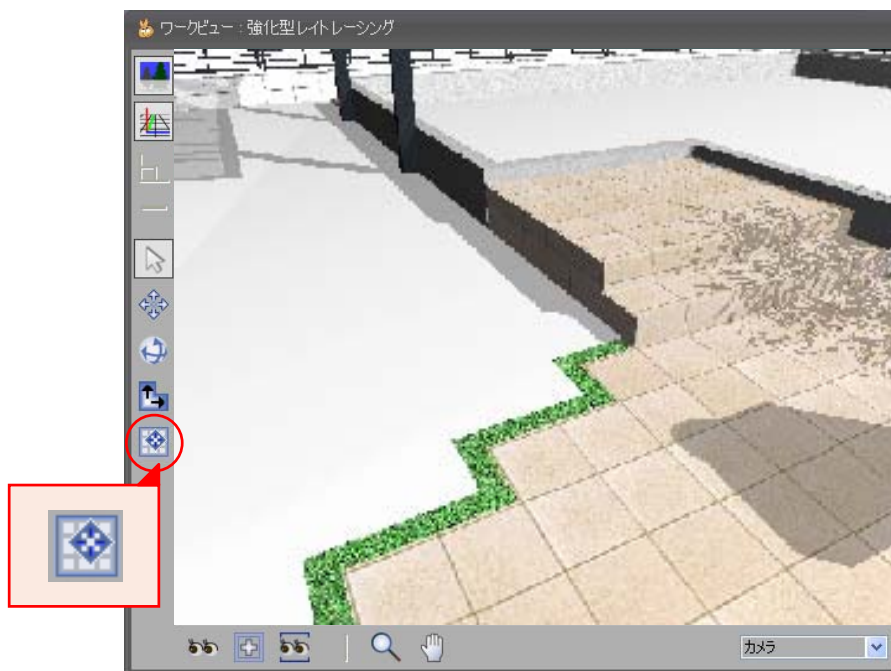
# テクスチャ設定

新しく取り込まれたオブジェクトにテクスチャを貼ります。



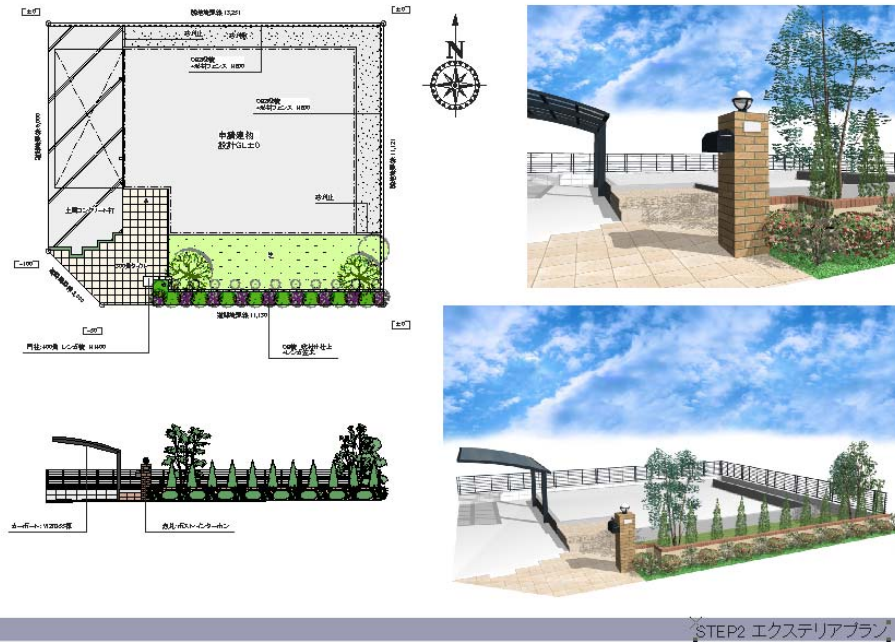
目地位置あわせ

目地を移動させて目地の貼り始め位置を調整できます。



# レンダリング～レイアウト

静止画像を作成し印刷用データにレイアウトします。



## レンダリング

静止画像の作成し保存します。

レンダリングメニュー

今すぐ静止画像レンダリング

## ファイルを開く

VectorWorksを起動し印刷用データを開きます。



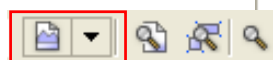
ファイルメニュー

開く

## 作業画面切替

レイアウト画面に切替ます。

3Dペインター/線画立面  
CGペインター仕上  
アークレンダー仕上  
レイアウト  
仕上印刷



## 画像の取り込み

静止画像を印刷用データに取り込みます。

ファイルメニュー

取り込み  
イメージファイル